

第1回アジア未来会議

オープンフォーラム「場所の時代」

建築家隈研吾氏による基調講演（講演は英語です）



【参加申込・問合せ】下記リンクから参加登録をお願いします

<http://aisf.wufoo.eu/forms/keynote-speech-registration/>

【日時】2013年3月8日(金)午前10時~12時

【会場】タイ国バンコク市、Centara Grand at
Central Plaza Ladprao Bangkok

【会費】無料

Age of Locations

アジア未来会議は、日本で学んだ人、日本に関心のある人が集い、アジアの未来について語る〈場〉を提供することを目的としています。

詳細はホームページ
<http://www.aisf.or.jp/AFC/>
をご覧ください。



【講演要旨】20世紀は、建築が世界を流通する巨大な商品と化した時代です。しかし90年代の不況の中、私は経済の波を超越できる建築について考えました。それが、徹底的に場所にこだわって設計する建築です。その場所でしか手に入らない材料を使い、場所を熟知した職人の手を使い、その地の気候、環境と調和し、人々が本当に必要としている建築を作るといことです。これは地域の経済の強化にもつながります。2009年の金融危機以降、世界的にもそのような「リージョナリズム」の動きが注目されています。

東日本大震災は、それぞれの場所の災害の歴史や地形的特性を無視し、20世紀の経済成長を前提に作られた都市の弱さを露呈しました。工業化社会に応じて構築した電力供給システムも、脆弱で不完全であったことがわかりました。リージョナリズムは、エネルギーの問題も含めて地域の自立をめざす運動でなければいけないということを、教えられました。そのための建築・都市のデザインをどうすべきかを考えさせる、自然からのメッセージを受け取ったのです。場所が主人公となる時代がやってきました。

【主催】公益財団法人渥美国際交流財団（関口グローバル研究会）

【共催】タマサート大学、北九州市立大学

【後援】日本文部科学省、在タイ日本大使館、タイ国日本人会、タイ国元日本留学生協会、盤谷日本人商工会議所

【助成】独立行政法人国際交流基金、一般社団法人東京倶楽部

【協力】Global Voices from Japan、公益財団法人本庄国際奨学財団、公益財団法人かめのり財団、公益財団法人世界平和研究所、特定非営利活動法人JAFSA（国際教育交流協議会）

【協賛】全日本空輸、三井住友銀行、伊藤園、Tostem Thai (Lixil Group)、住友電設、大気社タイランド、きんでんタイランド、タイ関電工、西尾レントオール、タイテック、ラマランド社、鹿島道路、鹿島建設、P.T. Senayan Trikarya Sempama、中鹿造股有限公司

